

第 5 次柴田町総合計画
前期基本計画 施策評価報告書

平成 2 6 年 6 月

目 次

1	前期基本計画の施策評価にあたって	1
(1)	施策評価の目的	1
(2)	施策評価の対象	1
(3)	施策評価の方法	1
(4)	施策評価の結果	3
2	成果指標一覧	6
基本目標 1	美しい都市空間の整備	6
基本目標 2	教育・文化・交流都市の創造	6
基本目標 3	安心ネット・地域防災の整備	7
基本目標 4	地域循環型経済の推進	8
基本目標 5	住民参加と自治活動の実践	8
3	重点プロジェクトの評価結果	9
重点プロジェクト 1	美しいまち創造プロジェクト	9
重点プロジェクト 2	食と農による地域づくりプロジェクト	10
重点プロジェクト 3	タウンセールス推進プロジェクト	11

1 前期基本計画の施策評価にあたって

(1) 施策評価の目的

平成23年度から平成26年度までの4年間の計画期間とする第5次柴田町総合計画前期基本計画は、残り1年間という時期を迎えました。

この間、財政再建プランの実施と並行して、東日本大震災からの復興やアベノミクスによる経済政策を活用するなど、長年の懸案事項にも着手することができました。

特に、まちの将来像「みんなで育てる 笑顔輝く 元気なまち」の実現のために展開してきた前期基本計画の各施策にあつては、限られた財源に工夫を凝らしながら、町の特色を生かせるよう推進してきました。

その結果、町の生活環境条件や地理的条件が見直され、槻木地区では人口が増加しているという現象も生じています。

しかし、刻々と変わる社会情勢の変化や町民ニーズを踏まえ、改めてこの4年間の前期基本計画期間の取り組みの検証を行い、その結果や成果の状況を明らかにし、当初の目標に対してどの程度の成果が得られたのか。そして、平成27年度からの後期基本計画期間の4年間で取り組むべき課題は何かを把握し、後期基本計画への活用を図るために評価を行いました。

今回の評価で浮き彫りになった課題を整理し、選択と集中により、多くの人々が「住んでよかった」、「来てよかった」、「これからも住みたい」と実感できるまちづくりの実現に向けて努めていくことを目指して、本報告書を作成します。

(2) 施策評価の対象

1) 前期基本計画に掲げられている各個別施策及び当該施策に関連する事業

(例)

基本目標 「美しい都市空間の整備」

施策 「快適な生活空間の整備」

個別施策 「町道幹線の整備」 → 内容として示された各施策を評価対象とした。

(72の成果指標数)

2) 重点プロジェクトに掲げられている取組みの方向に掲げられている施策事業

(例)

「美しいまち創造プロジェクト」

取組みの方向 「桜の名所である船岡城址公園を「花咲山」とする整備」 → 一つの施策として評価対象とした。(21の成果取組み数)

(3) 施策評価の方法

1) 個別施策の評価

各施策の事業評価シートにより、次の方法で評価しています。

(1) 個別施策の成果指標…「実績(見込)」と「達成率」から5段階(A~E)で評価しています。

① 達成率の算定

前期基本計画期間の4年間で、設定した「目標値」に向けての達成の度合いを次の算式により算定。

・ 目標値を前期基本計画時の現状より上げる指標…〔実績(見込)－現状〕 / 〔目標値－現状〕

- ・目標値を前期基本計画時の現状より下げる指標…〔現状－実績(見込)〕 / 〔現状－目標値〕
- ・目標値と前期基本計画時の現状が同じ指標
 実績(見込)が目標値より高い場合…〔実績(見込)〕 / 〔目標値〕
 実績(見込)が目標値より低い場合…〔実績(見込)〕 / 〔目標値〕－1

※「実績(見込)」は、平成26年度の見込み若しくは把握可能な最新の値を使用(進捗率も同じ)

② 進捗率の算定

設定した「目標値」に対する「実績(見込値)」の割合を次の算式により算定。

- ・目標値を前期基本計画時の現状より上げる指標若しくは現状維持の指標…〔実績(見込)〕 / 〔目標値〕
- ・目標値を前期基本計画時の現状より下げる指標…〔目標値〕 / 〔実績(見込)〕

③ 評価基準

評価は、達成率の値により、次の5段階で判断しています。

成果指標の評価基準

達成率	達成状況	評価
100%以上	目標値に達成した	A
70%以上 100%未満	目標値に概ね達成した	B
40%以上 70%未満	半分程度の達成状況である	C
10%以上 40%未満	あまり達成されていない	D
10%未満	ほとんど取り組めていない	E

(2) 主な取り組みと成果…取り組んできた内容やその成果等を具体的かつ簡潔に記入。

(3) 課題・今後の方向性…取り組んできた内容やその成果をもとに、残された課題、未着手の理由、今後の方向性を具体的かつ簡潔に記入。

2) 重点プロジェクトの評価

重点プロジェクト評価シートにより、次の視点を踏まえた上で、4段階(A～D)で評価しています。

① 評価の視点

- 視点1 「住民の暮らしを重視した取り組みであったか」
- 視点2 「地域の個性を生かした取り組みであったか」
- 視点3 「住民との協働による取り組みであったか」
- 視点4 「他分野との連携による取り組みであったか」

② 評価基準

重点プロジェクトの評価基準

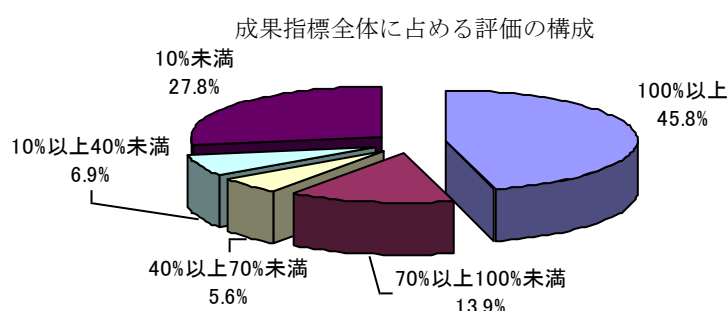
達成状況	評価
十分な取り組みを実施し、プランの実現に寄与した	A
ある程度の取り組みを実施したが、プランの実現に寄与したとはいえない	B
あまり取り組むことができなかった	C
まったく取り組むことができなかった	D

(4) 施策評価の結果

1) 個別施策

■ 総括（5つの基本目標）

成果指標数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
72	100%以上	A	33	45.8
	70%以上100%未満	B	10	13.9
	40%以上70%未満	C	4	5.6
	10%以上40%未満	D	5	6.9
	10%未満	E	20	27.8



評価を行った個別施策の72成果指標のうち「評価A」が33指標（45.8%）、「評価B」が10指標（13.9%）、「評価C」が4指標（5.6%）、「評価D」が5指標（6.9%）、「評価E」が20指標（27.8%）となっています。そのうち「評価A」及び「評価B」となった施策は43指標あり、概ね6割の施策が目標値を達成しています。特に基本目標2「教育・文化・交流都市の創造」と基本目標5「住民参加と自治活動の実践」の19指標の中で、「評価A」及び「評価B」は14指標あり70%を超える達成率となっています。

また、「評価D」及び「評価E」となった施策は24指標あり、全体の個別施策の3割が目標値を達成していないこととなります。特に基本目標3「安心ネット・地域防災の整備」と基本目標4「地域循環型経済の推進」の42指標の中で、「評価D」及び「評価E」は18指標が目標値未達成となっており、全体指標の達成率を引き下げていることとなります。

■ 基本目標1 美しい都市空間の整備

成果指標総数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
11	100%以上	A	4	36.4
	70%以上100%未満	B	4	36.4
	40%以上70%未満	C	0	0
	10%以上40%未満	D	2	18.1
	10%未満	E	1	9.1

■ 基本目標 2 教育・文化・交流都市の創造

成果指標総数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
1 1	100%以上	A	7	63.7
	70%以上100%未満	B	1	9.1
	40%以上70%未満	C	1	9.1
	10%以上40%未満	D	0	0
	10%未満	E	2	18.1

■ 基本目標 3 安心ネット・地域防災の整備

成果指標総数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
3 0	100%以上	A	12	40.0
	70%以上100%未満	B	3	10.0
	40%以上70%未満	C	4	13.3
	10%以上40%未満	D	2	6.7
	10%未満	E	9	30.0

■ 基本目標 4 地域循環型経済の推進

成果指標総数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
1 2	100%以上	A	5	41.7
	70%以上100%未満	B	1	8.3
	40%以上70%未満	C	0	0
	10%以上40%未満	D	0	0
	10%未満	E	6	50.0

■ 基本目標 5 住民参加と自治活動の実践

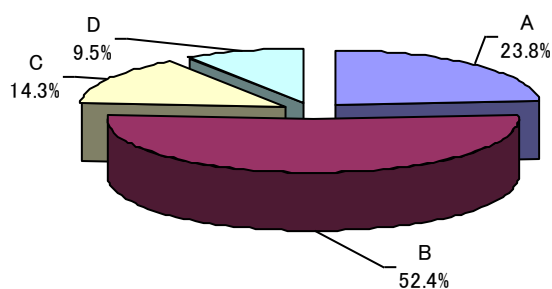
成果指標総数	達成率	評価	指標数	割合 (%)
8	100%以上	A	5	62.5
	70%以上100%未満	B	1	12.5
	40%以上70%未満	C	0	0
	10%以上40%未満	D	0	0
	10%未満	E	2	25.0

2) 重点プロジェクト

■ 総括 (3つの重点プロジェクト)

取組総数	達成率	評価	取組数	割合 (%)
2 1	十分な取組みを実施し、プランの実現に寄与した	A	5	23.8
	ある程度の取組みを実施したが、プランの実現に寄与したとはいえない	B	11	52.4
	あまり取り組むことができなかった	C	3	14.3
	まったく取り組むことができなかった	D	2	9.5

重点プロジェクト全体に占める評価の構成



評価を行った重点プロジェクト施策の21指標のうち「評価A」が5指標（23.8%）、「評価B」が11指標（52.4%）、「評価C」が3指標（14.3%）、「評価D」が2指標（9.5%）となっています。

その結果、戦略的に取り組むべき施策として、各課横断的に展開を図ることで取りまとめた施策でしたが、期待通りに取り組みが展開したとはいええない結果となりました。

■ 重点プロジェクト1 美しいまち創造プロジェクト

取組総数	達成率	評価	取組数	割合 (%)
7	十分な取組みを実施し、プランの実現に寄与した	A	2	28.6
	ある程度の取組みを実施したが、プランの実現に寄与したとはいえない	B	3	42.8
	あまり取り組むことができなかった	C	2	28.6
	まったく取り組むことができなかった	D	0	0

■ 重点プロジェクト2 食と農による地域づくりプロジェクト

取組総数	達成率	評価	取組数	割合 (%)
7	十分な取組みを実施し、プランの実現に寄与した	A	1	14.3
	ある程度の取組みを実施したが、プランの実現に寄与したとはいえない	B	4	57.1
	あまり取り組むことができなかった	C	1	14.3
	まったく取り組むことができなかった	D	1	14.3

■ 重点プロジェクト3 タウンセールス推進プロジェクト

取組総数	達成率	評価	取組数	割合 (%)
7	十分な取組みを実施し、プランの実現に寄与した	A	2	28.6
	ある程度の取組みを実施したが、プランの実現に寄与したとはいえない	B	4	57.1
	あまり取り組むことができなかった	C	0	0
	まったく取り組むことができなかった	D	1	14.3

2 成果指標一覧

基本目標1 美しい都市空間の整備

指標番号	指 標	単位	現状 (H21 年度)	目標値 (H26 年度)	実績(見込) (H26 年度)	達成率	進捗率	評価
1	町道富沢16号線道路改良事業の整備延長 (総延長2,600m)	m	0	1,300	910	70.0%	70.0%	B
2	生活道路の整備延長	m	0	400	328	82.0%	82.0%	B
3	上水道の有収率	%	83	86	88	166.7%	102.3%	A
4	水洗化率	%	88.00	90.00	89.95	97.5%	99.9%	B
5	船岡新栄地区の街区公園数	箇所	3	6	6	100.0%	100.0%	A
6	オープンガーデン数	箇所	(H22 年度) 5	10	13	160.0%	130.0%	A
7	1人1日当たりの家庭ごみ排出量	g	659	600	617	71.2%	97.2%	B
8	リサイクル率	%	16.7	20.0	17.6	27.3%	88.0%	D
9	環境指導員数	人	15	18	16	33.3%	88.9%	D
10	未水洗化人口	人	9,764	8,600	6,558	275.4%	131.1%	A
11	太陽の村施設利用者数	人	40,236	45,000	36,507	-78.3%	81.1%	E

基本目標2 教育・文化・交流都市の創造

指標番号	指 標	単位	現状 (H21 年度)	目標値 (H26 年度)	実績(見込) (H26 年度)	達成率	進捗率	評価
12	臨床心理士の配置数	人	0	1	1	100.0%	100.0%	A
13	特別支援教育支援員の派遣数	人	7	9	10	150.0%	111.1%	A
14	フラワーアドバイザーの委嘱数	人	0	9	事業廃止	—	—	—
15	小中学校の大規模改修工事実施数	校	0	3	2	66.7%	66.7%	C
16	生涯学習センターにおける自然体験学習事業の実施数	講座	2	6	6	100.0%	100.0%	A
17	自然体験キャンプの実施回数	回	1	2	1	0.0%	50.0%	E
18	子ども会育成会加入の割合	%	90.2	92.0	(H25 年度) 91.6	77.8%	99.6%	B
19	人材バンクの利用件数	件	0	192	(H25 年度) 217	113.0%	113.0%	A
20	全スポーツ施設の利用者数	人	178,000	200,000	178,000	0.0%	89.0%	E
21	ふるさと文化伝承館・産業展示館研修室・如心庵利用者数	人	21,668	22,100	25,000	771.3%	113.1%	A
22	資料展示館 思源閣観覧者数	人	2,559	2,700	2,900	241.8%	107.4%	A
23	図書貸出冊数	冊	(H22 年度見込) 65,000	68,300	110,000	1,363.6%	161.1%	A

基本目標3 安心ネット・地域防災の整備

指標番号	指 標	単位	現状 (H21年度)	目標値 (H26年度)	実績(見込) (H26年度)	達成率	進捗率	評価
24	健康づくり教室等への参加者数 まちづくり出前講座、健康相談（健診事後相談を除く）、仙台大学との連携による健康教室、食事相談、糖尿病予防教室の参加者数	人	920	1,020	(H25年度) 1,028	108.0%	100.8%	A
25	各種がん検診受診率	%			(H25年度)			
	胃がん		29.3	50.0	28.4	-4.4%	56.8%	E
	大腸がん		37.0	50.0	39.5	19.2%	79.0%	D
	子宮がん	38.2	50.0	38.7	4.2%	77.4%	E	
26	特定健康診査受診率	%	(H20年度) 46.3	65.0	(H24年度) 33.3	-69.5%	51.2%	E
27	災害時要援護者支援に係る福祉避難所の協定締結数	施設	0	10	8	80.0%	80.0%	B
28	ふれあいネットワーク互助事業の協力会員登録者数	人	40	80	35	-12.5%	43.8%	E
29	介護ボランティア登録者数	人	0	190	0	0.0%	0.0%	E
30	地域包括支援センター数	箇所	1	2	2	100.0%	100.0%	A
31	身近な集会所等での介護予防事業の推進開催数（元気はつらつお達者 day 事業）	回	196	320	266	56.5%	83.1%	C
32	（仮称）第2柴田町自立支援通所「春風」整備	箇所	1	2	1	0.0%	50.0%	E
33	小規模多機能型居宅介護施設数	箇所	0	1	1	100.0%	100.0%	A
34	障害者相談支援体制数	箇所	(H21.3現在) 1	2	2	100.0%	100.0%	A
35	福祉施設から地域へ移行した障害者数	人	(H21.3現在) 4	5	2	-200.0%	40.0%	E
36	地域活動支援センター「しらさぎ」及び「もみのき」での1日当たりの平均活動者数	人	20	35	30	66.7%	85.7%	C
37	福祉的就労から一般就労への移行者数	人	1	5	2	25.0%	40.0%	D
38	保育所の定員	人	(H22.4.1現在) 420	440	437	85.0%	99.3%	B
39	学童型児童館の利用者数	人	4,223	4,650	4,556	78.0%	98.0%	B
40	放課後児童クラブ登録者数	人	(H22.4.1現在) 199	220	264	309.5%	120.0%	A
41	自主防災組織防災指導員数	人	40	84	90	113.6%	107.1%	A
42	消防団員数	人	(H22.4.1現在) 316	330	311	-35.7%	94.2%	E
43	火災警報器の普及率	%	76	100	26	-208.3%	26.0%	E
44	消火栓設置数	基	(H22.4.1現在) 446	458	449	25.0%	98.0%	D
45	鷺沼排水区公共下水道雨水整備率	%	0	10	10	100.0%	100.0%	A
46	町道松ヶ越4号線道路改良工事の整備延長（総延長250m）	m	0	250	250	100.0%	100.0%	A
47	側溝改修工事の整備延長	m	0	1,000	1,690	169.0%	169.0%	A
48	交通事故発生件数	件	(H21年) 176	(H26年) 150	(H25年) 143	126.9%	104.9%	A
49	刑法犯罪認知件数	件	(H21年) 462	(H26年) 410	(H25年) 328	257.7%	125.0%	A

指標番号	指 標	単位	現状 (H21 年度)	目標値 (H26 年度)	実績(見込) (H26 年度)	達成率	進捗率	評価
50	小中学校の耐震化率	%	(H22.4.1現在) 81.8	100.0	100.0	100.0%	100.0%	A
51	北船岡町営住宅建設戸数	戸	(H22.4.1現在) 59	168	106	43.1%	63.1%	C

基本目標 4 地域循環型経済の推進

指標番号	指 標	単位	現状 (H21 年度)	目標値 (H26 年度)	実績(見込) (H26 年度)	達成率	進捗率	評価
52	スロープカーの利用者数	人	(H20 年度) 20,221	22,300	(H25 年度) 26,599	306.8%	119.3%	A
53	エコファーマー取組農家数	人	44	44	6	-86.4%	13.6%	E
54	直播栽培の面積	a	540	1,080	1,600	196.3%	148.1%	A
55	認定農業者の人数	人	41	41	41	100.0%	100.0%	A
56	花き・鉢花の出荷額	千円	240,000	260,000	291,000	255.0%	111.9%	A
57	遊休農地（水田）の面積	ha	170	130	142	70.0%	91.5%	B
58	起業家支援数	件	1	2	(H25 年度) 8	700.0%	400.0%	A
59	誘致企業数	企業	51	52	48	-300.0%	92.3%	E
60	製造業に係る従業者数	人	(H20 年度) 5,262	5,370	(H24 年度) 4,339	-854.6%	80.8%	E
61	認定職業訓練派遣者数	人	115	130	(H25 年度) 99	-106.7%	76.2%	E
62	シルバー人材センター会員数	人	315	350	(H25 年度) 275	-114.3%	78.6%	E
63	コミュニティビジネス研修会の開催数	回	0	2	(H25 年度) 0	0.0%	0.0%	E

基本目標 5 住民参加と自治活動の実践

指標番号	指 標	単位	現状 (H21 年度)	目標値 (H26 年度)	実績(見込) (H26 年度)	達成率	進捗率	評価
64	まちづくり推進センターでの支援団体数	団体	0	20	32	160.0%	160.0%	A
65	地域計画策定団体数	団体	(H22 年度) 0	42	42	100.0%	100.0%	A
66	審議会等委員への女性登用率	%	(H22.4.1現在) 21.4	30.0	55.6	397.7%	185.3%	A
67	紙芝居などの人権教室を開催した町内の学校数	校	1	4	4	100.0%	100.0%	A
68	町職員数(第5次定員適正化計画)(教育長を除く)	人	(H22.4.1現在) 296	286	296	0.0%	96.6%	E
69	地方債残高比率	%	158.1	140.0	160.0	-10.5%	87.5%	E
70	将来負担比率	%	83.4	75.0	75.0	100.0%	100.0%	A
71	町のホームページアクセス件数(1か月)	件	12,783	16,700	16,500	94.9%	98.8%	B

3 重点プロジェクトの評価結果

重点プロジェクト1 美しいまち創造プロジェクト

(プロジェクトの目的)		
地域の資源である桜を核として、船岡城址公園や白石川堤を様々な花々で飾る公園整備、オープンガーデンの推進により、まちなかがたくさんの花であふれ、住民や町を訪れる人が心安らぎ、花々が彩る新風景「花のまち柴田」を創造します。		
取組みの方向	評価	プロジェクトに対する取組み状況（評価の理由）
桜の名所である船岡城址公園を「花咲山」とする整備 【商工観光課】	A	船岡城址公園は、四季折々の花々や花木等を植栽したことで、年間を通して観光客を迎えられるようになりました。また、公園内には、「コミュニティガーデン花の丘柴田」や「百花の園」等の町民手作りのガーデンも創作されるようになりました。
白石川堤での「一目千本桜景観形成事業」の推進 【都市建設課】	B	白石川堤外地の公園整備については、平成 25 年度から整備に着手し、平成 27 年度末に完成予定です。この公園のデザインについては、町民を対象とした一般公募により参加いただいた住民が中心となって素案をまとめたものです。
白石川堤と船岡城址公園を連絡橋（跨線橋）で結ぶ「回遊ルート」の整備 【都市建設課】	B	（仮称）さくら連絡橋については、平成 25 年度から整備に着手し、平成 27 年度末に完成予定です。この連絡橋のデザインや周辺整備などは町民を対象とした一般公募により参加いただいた住民が中心となって素案をまとめたもので、歩いて楽しむための工夫がなされたものとなりました。
個人宅の美しい庭巡りをする「オープンガーデン」の推進 【まちづくり政策課】	B	花と緑の観賞会として、交流人口の増加を図るため、多くの方が、ご自宅のお庭や里山を一般公開して下さることになりました。バラの咲く 6 月は交流人口が延べ 3,000 人を超えました。
「フラワーパーク（花巡り公園）」の整備 【都市建設課】	A	平成 24 年度から 26 年度までの期間に、船岡新栄地区の 3 か所に公園を整備しました。いずれの公園も、町民を対象とした一般公募により参加いただいた住民が中心となって素案をまとめたもので、それぞれの公園に特徴があり、船岡新栄 4 号公園は東北一の高さを誇るザイルクライミング、船岡新栄 5 号公園はフットサル場がある運動ができる公園、また、船岡新栄 6 号公園は、近接して福祉施設もあることから、幼児と高齢者が交流できるよう工夫された公園となりました。
道路沿道を花で飾る「フラワーベルト」の推進 【まちづくり政策課】	C	入間田地区の「すいせんロード」、土手内地区白石川堤の「ひがん花ロード」、船岡駅前通りのフラワーポットなど、柴田小学校北側のハス、富上地区のヒマワリとコスモスなど、沿道の花景色は町民主体で着実に進みました。
「フラワーコンテスト」の実施 【まちづくり政策課】	C	個人のお庭をコンテストの題材にするには難しいものがありました。 また、平成 25 年度にハンギングバスケットの製作コンテストを開催しましたが、材料など金額に左右されることから順位付けを見送りました。作品を船岡城址公園に展示し、大変好評だったことから今後の土台となりました。

重点プロジェクト2 食と農による地域づくりプロジェクト

(プロジェクトの目的)		
<p>柴田町は、里山など自然とふれあう良好な環境に恵まれています。このような貴重な自然環境を生かし、里山ハイキングコースや農産物直売所、地場産食材を利用した農村レストランなどにより、農村と都市の交流を促進します。</p>		
取組みの方向	評価	プロジェクトに対する取組み状況（評価の理由）
<p>槻木北部地区に広がる自然豊かな里山を利用した「里山ハイキングコース」の整備 【農政課】</p>	B	<p>地域資源（自然、景観、歴史、伝統文化）を生かして里山を歩きながら自然空間を楽しむ里山ハイキングモデルコースを6コース設定しました。年間を通して楽しむことができるよう草刈りや巡回を定期的に行っています。コースごとに案内板や道標等も設置していますが、まだ不備な箇所もあるため継続して整備に努めます。</p>
<p>地域の食材を生かす「農村レストラン」を核とした「エコ・ツーリズム」の推進 【農政課】</p>	C	<p>平成24年2月に上川名地区の地域の食材を生かした郷土料理や精進料理を提供する地区住民で立ち上げた農家レストランがオープンしました。現在は、交流イベントなどを中心に運営されています。エコ・ツーリズムとの連携については、これから地区と一緒に研究していきます。</p>
<p>直売イベントの開催、農産物直売所の活用など「地産地消」の促進 【農政課】</p>	A	<p>柴田町観光物産交流館を拠点に、特産農作物である鉢花の展示即売会を実施しました。新コメまつりや柚子フェア、新そばまつりなどにも支援し、広く周知する機会を得ることができました。また、5つの農産物直売所が連携して盆菊まつりや歳末感謝祭などを実施し、地産地消の定着を目指しました。</p>
<p>都市と農村の交流拠点とする「太陽の村再整備事業」の実施 【農政課】</p>	D	<p>平成22年度に柴田町太陽の村交流拠点再生化計画が策定されました。震災対応や財政面の課題から維持に重点を置いて管理してきました。今後は、計画に沿って、遊具の設置や施設のリフォームなどを進めます。</p>
<p>食品関連業者と農村集落が連携して行う「地域特産品」の開発支援 【農政課】</p>	B	<p>特産品である「雨乞の柚子」を使った加工品や料理の開発を行いました。加工品向けの柚子の確保とパウダーやペーストに一次加工した原料の提供が課題となったことから、平成25年度に「雨乞の柚子生産組合」を設立し、生産及び原料提供体制の強化に努めました。</p>
<p>「柴田の花き」のブランド化の支援 【農政課】</p>	B	<p>オリジナルの鉢花用フラワーラップの作成を支援し、「柴田の花き」の周知に努めました。</p>
<p>市民農園や自然体験学習を学ぶ「ふれあい農業」の推進 【農政課】</p>	B	<p>農業に身近にふれられる3か所の市民農園の管理と運営に対し支援しました。また、小学生が農作物の成長と収穫の喜びを体験する学習田事業を5つの小学校で実施しました。</p>
(他分野との連携等)		
<p>里山ハイキングモデルコースを多くの町民に楽しんでもらうために、生涯学習課で里山案内人を養成するとともに、主催事業として教室を開催しました。</p>		

重点プロジェクト3 タウンセールス推進プロジェクト

(プロジェクトの目的)		
<p>「美しいまち創造プロジェクト」と「食と農による地域づくりプロジェクト」を推進するためには、町内外に広く柴田町をアピールする必要があります。地域ブランド化や魅力あるまちづくりなどを住民と共に進めるタウンセールスの推進により町の知名度を高め、観光、イベントなどにより交流人口を増やします。</p>		
取組みの方向	評価	プロジェクトに対する取組み状況（評価の理由）
<p>地域ブランド「花のまち柴田」の推進 【まちづくり政策課】</p>	B	<p>船岡城址公園を花のまちのシンボルとして整備を進め、桜や菊のほか、紫陽花やヒガンバナもイベントの素材として活用しました。花卉栽培農家が育てるトルコギキョウなどの切り花やクリスマスローズなどの鉢花の知名度も高まりました。また、住民参加によるオープンガーデン事業も人気があり、各行政区や地域団体も花と緑の地域づくりを継続して実施しています。この4年間で「花のまち柴田」のキャッチフレーズは定着しました。一方で、駅や沿道などの景観について、まだまだ花が足りないといった意見も多く、これは町民の花によるブランドづくりに対する期待感であり、真のブランド化に向けてさらに努力しなければなりません。</p>
<p>「魅力あるまちづくり」の推進 【まちづくり政策課】</p>	B	<p>町の最大の資源である船岡城址公園と白石川堤の桜を町民との協働による”おもてなし”によりさらに魅力を引き出し、多くの観光客を招くことができました。産業資源である切花や鉢花の産直販売も活性化し、町外からの購買客が増加しました。オープンガーデン・彼岸花祭り・菊の祭典・槻木駅や船岡駅のイルミネーションなど、地域住民との協働により年間を通して賑わいのある柴田町、魅力のある柴田町としてアピールすることができました。</p>
<p>地域資源を活用した「新観光ルート」の開発 【商工観光課】</p>	B	<p>自然豊かな里山を巡るハイキングコースが6コースで上がり、町民はもとより仙台方面からの来客もあります。また、町観光物産協会では、上川名地区のホテルまつりと連携しながら、富沢磨崖仏群と組み合わせた新たなツアーが始まりました。</p>
<p>町ならではの特徴ある「お土産」の開発 【商工観光課】</p>	B	<p>しばた柚子フェアで柚子を使用した菓子等が販売されるようになりましたが、認知度は低い現状です。</p>
<p>「イメージキャラクター」の創作 【まちづくり政策課】</p>	A	<p>平成23年9月15日～11月15日の期間に全国から425点のキャラクターデザインの応募があり、1次・2次・3次審査を経て、デザインが決定しました。その後、愛称の募集を行い、372点の中から「はなみちゃん」と愛称が決まりました。長く親んでもらえるよう選定までの間に多くの町民に参加していただきました。また、着ぐるみを柴田町観光物産協会が製作し、平成24年7月7日から「花のまちイメージキャラクター」として、本町の知名度アップのために貢献しています。</p>
<p>町内の名所・旧跡などを紹介する「観光ボランティア」の育成 【商工観光課】</p>	A	<p>桜まつりを中心に町民ボランティアと町職員、さらに婦人会も加わり、JR船岡駅や白石川堤、船岡城址公園等5か所で観光案内所を設置し、観光案内を行うようになりました。また、船岡城址公園の秋の新たなイベントである曼珠沙華まつりにも町民ボランティア7名が観光案内を行いました。</p>
<p>「タウンセールス」推進体制の整備 【まちづくり政策課】</p>	D	<p>キャラクター考案事業やリーフレットの製作は、公募町民、仙台大学生、観光物産協会、社会福祉協議会、商工会などによるワークショップを開催し、力を合わせて進めたものの、タウンセールス全体を推進する組織の設置までには至りませんでした。</p>